

ディプロマ・ポリシー

科目区分		問題に関する専門的・学際的理解	課題の設定と分析・解決法の立案	多様な人々との協働性と応用実践
科目区分	人間社会科学	1. 各領域の専門的知識・専門的技術と幅広い学際的な知見を身につけ、人間と社会に関する問題を深く理解することができる。	2. 人間と社会に関する諸問題について、独自の課題を設定し、その解決に向けて、専門的な方法で分析することができる。	3. 地域および現代社会における諸問題について、多様な人々と協働して問題解決にあたることができる。
	社会創成専攻	1. 人間と社会に関する各領域の専門的知識・理論・研究法と幅広い学際的な知見を身につけ、人間と社会に関する問題を深く理解することができる。	2. 人間と社会に関する諸問題について、独自の課題を設定し、その解決に向けて、必要な情報を収集し、専門的な方法で分析することができる。	3. 地域および現代社会における諸問題について、専門的知識・研究成果・問題解決策を、学際的知見を踏まえて、多様な人々に的確に表現し、協働して応用・実践的に問題解決にあたることができる。
	法政コース	1. 法学・政治学に関する諸領域の理論および研究方法について専門的知識を身につけている。 2. 専門知識に基づいて、人間と社会を深く理解することができる。 4. 地域および現代社会の諸問題の原因について、的確な情報により、法学・政治学の学術的理論、および、人間と社会に関する学際的研究を応用して分析・研究することができる。	3. 法学・政治学の専門知識、および、人間と社会の学際的知識に基づいて、人間と社会を深く理解する力とその問題解決に向けて、的確に研究に必要な情報を収集・分析・可視化することができる。	5. 地域および現代社会の諸問題の解決に向けて、法学・政治学の専門知識を他者に伝え、多様な人々と協働し共生社会を先導して地域社会の未来を創成することにとりくむことができる。 6. 地域および現代社会の諸問題について、他者との議論を通じて法学・政治学の学術的理論に基づく考えをまとめ、その応用としての解決策を多様な人々に対して的確に表現できる。 7. 高度専門職業人として必要な法学・政治学理論と技法に基づき、学際的な視点に立って、応用・実践的に社会問題の解決に着手することができる。
研究科共通科目	人間社会科学特論	◎	○	○
コース間連携科目	インターディシプリナリー・コミュニケーション・セッションⅡ	○	○	◎
	他専攻・他コースの専門科目	◎		○
社会実践科目	(科目名省略)		○	◎
コース基盤科目	法政基礎論	○	◎	○
コース専門科目	憲法特殊講義ⅠA	◎	○	◎
	憲法特殊講義ⅠB	◎	○	○
	憲法特殊講義ⅡA	◎	○	○
	憲法特殊講義ⅡB	◎	○	○
	行政法特殊講義ⅠA	◎	○	◎
	行政法特殊講義ⅠB	◎	○	○
	行政法特殊講義ⅡA	◎	○	○
	行政法特殊講義ⅡB	◎	○	○
	民法特殊講義ⅠA	◎	○	◎
	民法特殊講義ⅠB	◎	○	○
	民法特殊講義ⅡA	◎	○	○
	民法特殊講義ⅡB	◎	◎	○
	政治学特殊講義ⅠA	◎	○	◎
	政治学特殊講義ⅠB	◎	○	○
	政治学特殊講義ⅡA	◎	○	○
	政治学特殊講義ⅡB	◎	○	○
	行政学特殊講義ⅠA	◎	○	◎
	行政学特殊講義ⅠB	○	◎	○
	行政学特殊講義ⅡA	◎	○	○
	行政学特殊講義ⅡB	○	◎	○
	社会法特殊講義ⅠA	◎	○	◎
	社会法特殊講義ⅠB	◎	○	○
	社会法特殊講義ⅡA	◎	○	○
	社会法特殊講義ⅡB	◎	○	○
	企業法特殊講義ⅠA	◎	○	◎
	企業法特殊講義ⅠB	◎	○	○
	企業法特殊講義ⅡA	◎	○	○
	企業法特殊講義ⅡB	◎	○	○
	刑事法特殊講義ⅠA	◎	○	◎
	刑事法特殊講義ⅠB	◎	○	○
	刑事法特殊講義ⅡA	◎	○	○
	刑事法特殊講義ⅡB	◎	○	○
	刑事訴訟法特殊講義ⅠA	◎	○	◎
刑事訴訟法特殊講義ⅠB	◎	○	○	
刑事訴訟法特殊講義ⅡA	◎	○	○	
刑事訴訟法特殊講義ⅡB	◎	○	○	
税財政法特殊講義ⅠA	◎	○	◎	
税財政法特殊講義ⅠB	◎	○	○	

ディプロマ・ポリシー

科目区分		問題に関する専門的・学際的理解	課題の設定と分析・解決法の立案	多様な人々との協働性と応用実践
人間社会科学	研究科	1. 各領域の専門的知識・専門的技術と幅広い学際的な知見を身につけ、人間と社会に関する問題を深く理解することができる。	2. 人間と社会に関する諸問題について、独自の課題を設定し、その解決に向けて、専門的な方法で分析することができる。	3. 地域および現代社会における諸問題について、多様な人々と協働して問題解決にあたることができる。
	社会創成専攻	1. 人間と社会に関する各領域の専門的知識・理論・研究法と幅広い学際的な知見を身につけ、人間と社会に関する問題を深く理解することができる。	2. 人間と社会に関する諸問題について、独自の課題を設定し、その解決に向けて、必要な情報を収集し、専門的な方法で分析することができる。	3. 地域および現代社会における諸問題について、専門的知識・研究成果・問題解決策を、学際的知見を踏まえて、多様な人々に的確に表現し、協働して応用・実践的に問題解決にあたるることができる。
	法政コース	1. 法学・政治学に関する諸領域の理論および研究方法について専門的知識を身につけている。 2. 専門知識に基づいて、人間と社会を深く理解することができる。 3. 地域および現代社会の諸問題の原因について、的確な情報により、法学・政治学の学術的理論、および、人間と社会に関する学際的研究を応用して分析・研究することができる。	3. 法学・政治学の専門知識、および、人間と社会の学際的知識に基づいて、人間と社会を深く理解する力とその問題解決に向けて、的確に研究に必要な情報を収集・分析・可視化することができる。	5. 地域および現代社会の諸問題の解決に向けて、法学・政治学の専門知識を他者に伝え、多様な人々と協働し共生社会を先導して地域社会の未来を創成することにとりくむことができる。 6. 地域および現代社会の諸問題について、他者との議論を通じて法学・政治学の学術的理論に基づく考えをまとめ、その応用としての解決策を多様な人々に対して的確に表現できる。 7. 高度専門職業人として必要な法学・政治学理論と技法に基づき、学際的な視点に立って、応用・実践的に社会問題の解決に着手することができる。
研究指導科目	法政演習 修士論文	◎	◎	○
	税財政法特殊講義ⅡA	◎	○	○
	税財政法特殊講義ⅡB	◎	○	○
	国際租税法特殊講義A	◎	○	◎
	国際租税法特殊講義B	◎	○	○
	情報法制論	◎	○	◎